



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



VELOREX



RACING WITH FERRARI



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

- 大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 5 SUZUKA GT 300km RACE
- 開催日：2026年8月22日（土）公式予選、23日（日）決勝
- 会場：鈴鹿サーキットレーシングコース フルコース（1周：5.807km）
- 同日開催：2026年FIA-F4選手権シリーズ第7戦・第8戦
- 主催：関西スポーツカークラブ（KSCC） / 鈴鹿モータースポーツクラブ（SMSC） / ホンダモビリティランド株式会社
- 認定：株式会社GTアソシエーション
- 公認：国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- 後援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿市F1日本グランプリ地域活性化協議会/一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+ O



ニクラス クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日 2002年10月20日
出身地 ドイツ
身長 180cm
体重 78kg
血液型 RH+A

■ チーム体制

チーム名： VELOREX
車両名： UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー： 6
タイヤ： 横浜ゴム株式会社
ドライバー： 片山 義章 / ニクラス・クルッテン
エントラント代表： 片山 義章
チーム監督： 小倉 啓悟
広報兼マネージャー： 塩田 裕子
レースアンバサダー： YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN)
ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA



ゆづ



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 予 選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	34℃ (GT300クラスQ1開始時)
路面温度	46℃ (GT300クラスQ1開始時)
予選開始	15時48分 (GT300クラスQ1-B組開始)



VELOREX、0.053秒差で予選Q1突破ならず、この悔しさを決勝で晴らす決意！

VELOREXは、前回の富士大会から空力面とクーリング面を改良した最新型のFERRARI 296 GT3 EVOを投入し、早速富士大会で確かな手応えを得て、第5戦鈴鹿大会に臨んだ。片山義章、ニクラス・クルッテンの両ドライバーも、チームメイトとして今大会で5戦目を迎え、セットアップの方向性も共有できたことで、更なる高みを目指している。今シーズンのSUPER GT GT300クラスは各チームから例年より多くの最新GT3車両が投入されていることもあって、予選から例年以上に熾烈な戦いが繰り広げられることとなった。

また、マルチメイク・タイヤでの最後のシーズンであり（来年はワンメイクタイヤとなることが発表されている）、タイヤメーカーによる特性の違いによって、タイヤ無交換戦略や2輪のみ交換といった戦略を取るチームも存在し、ピット作業時間の短縮もより重要なファクターとなっている。VELOREXは、今年もヨコハマタイヤを装着してSUPER GTを戦っている。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に7戦の合計でタイトルが決定される。

（延期のマレーシア大会は最終戦もてぎ大会で代替開催が発表されている）

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：20位（予選Q 1:10位／片山選手：1分58秒397／予選Q2：－／ニクラス選手：不出走）

夏の陽射しが照りつけるの鈴鹿サーキットで開催されたSUPER GT第5戦、午前9時45分からスタートした。公式練習は、2度の赤旗による中断と車両回収やオイル処理等によって11時30分まで延長された。VELOREXはふたりのドライバーが最終的に20周をこなし1分59秒046をマークし、11番手で公式練習を終えた。ややアンダーステア傾向のマシンにエンジニアは対策を施して午後15時30分の予選を迎えた、今回、6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループBに片山義章が出走、4周目のアタックでセクター1,2,3と自己ベストタイムを刻んだが、シケインで大きくリヤが流れてタイムロスしてしまい、1分59秒292で9番手タイム。なんとか予選Q1突破かと思われたが、何台かのマシンがタイム更新中であつたために、片山はそのまま連続アタックを試みる。しかしタイヤの美味しい部分を使い切っており、セクター1,2,3では自己ベストを下回ったが、セクター4で大幅にタイムアップし、1分58秒397と自己ベストを更新。しかし9位のタイムに僅か0秒053届かず、10番手となり、残念ながら予選Q2進出はならなかった。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 決 勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	34℃（スタート時）
路面温度	49℃（スタート時）
決勝レース開始	13時30分 （正式スタート時刻 13時37分26秒）
レース予定走行距離	302.96km 52周 （正式フィニッシュ時刻 15時24分25秒）



予想外に厳しい展開となった決勝レース、多くのハプニングを乗り越え、18位完走でチェッカーを受ける！

8月23日の決勝日、鈴鹿サーキットは快晴となり、予選、決勝を通じた2日間で52,500人も観客が集まる夏休み最後のイベントとなった。早朝からサポートレースやピットウォーク、トークショーなどでサーキットは華やかな雰囲気になっていく。昨日の予選で各セクターのベストタイムを繋げば2番手に相当するタイムをマークできていたVELOREXは、気持ちを切り替えて12時からのウォームアップ走行に臨んだ。短い時間の中でマシンのバランスを確認して万全の準備を整えたチームは、スタートドライバーの片山にステアリングを委ね、午後3時30分のスタートを待つ。グリッドは20番手と厳しいポジションではあるが、チームは自信に満ちていた。前戦富士大会から投入した新型フェラーリ296GT3・EVOへの理解も深まり、マシンのポテンシャルの高さは確実に向上しているからだ。気温34℃、路面温度49℃という暑いコンディションの中、300kmのレースは幕を開けた。

中団からのスタートで多くのマシンに飲み込まれる中、片山は冷静にポジションアップ。しかし序盤に2度もライバルたちにマシンの右リヤ部分をヒットされ、2度目は第1コーナーでオーバーテイクしたマシンにイン側から押し出される形で接触されてしまい、たまたまコースアウト。一気にポジションを27番手まで落としてしまう。接触した相手にペナルティが課されたが、落ちてしまった順位は取り戻すしかない。片山は右リヤサスペンションにダメージを受けたマシンにもかかわらず次第にポジションを上げ、22番手まで浮上した16周目にニクラスに交代。チームはタイヤ交換とマシンの応急処置に多少時間を取られたものの、6号車はすぐにレースに復帰。ニクラスは24番手から再び上位を目指してペースを上げる。レースは残り5周で大きなアクシデントが発生し、セーフティカー先導のまま終了となったが、6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは18位まで浮上し、大観客の拍手の中でチェッカーを受けた。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手 & ニクラス選手）

決勝結果：18位





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆コメント



片山 義章 選手のコメント

厳しいレース結果となってしまいました。公式練習から新型フェラーリ296GT3 EVOのパフォーマンスはあったのですが、予選アタックラップのシケインでシフトロックしたのかスライドしてしまい、もう1周アタックしたのですがタイヤのベストを使い切った後でしたので、悔しい結果となりました。それでもベストセクターを繋げば2番手タイムは出ていたので、気持ちを切り替えて決勝に臨みました。決勝ではスタート直後の混戦の中、序盤に2度も当てられてしまい、大きくポジションを落としてしまいました。右リヤにダメージを負ったのですが、タイヤは大丈夫だったのでそのまま走り、ミニマム周回数でニクラスに交代。マシンに応急処置を施してレースに復帰させましたが、ニクラスは本当に良い走りを見せてくれたと思います。今回は課題の多いレースでした。エントラント代表の立場としても次のレースまでに体制を見直し、菅生大会では絶対に優勝を狙って頑張ります。



ニクラス・クルッテン選手のコメント

今回は自分たちのパフォーマンスが発揮できず、フラストレーションがたまる週末となってしまいました。公式練習は赤旗中断や他のマシンのアクシデントで思うようにセットアップを煮詰めることができず不安だったのですが、エンジニアたちは決勝に向けて最高の仕事をしてくれました。片山選手がスタート直後に2度も当てられたのは不運としか言いようがないですが、自分のスティントでのマシンのバランスはとても良く、限界までプッシュできたと思います。鈴鹿サーキットは抜くのが難しいサーキットですから18位までしかリカバーできませんでしたが、それでも多くのマシンをコース上でオーバーテイクできたので、自分の走りには満足しています。暑さの中で、タイヤのパフォーマンスも素晴しかったですし、次の菅生は得意なタイプのサーキットですから、頑張っって勝利を狙います。



小倉 啓悟 監督コメント

レースですから、いろいろな事がうまく噛み合わない時もありますが、この週末はチームもドライバーもミスが多く、反省すべき課題を残したレースでした。マシンの持つポテンシャルも高かったですし、レース中のピット作業ももっとうまくやれたはず。決勝レース序盤で片山選手が2度のアクシデントに巻き込まれ、大きくポジションを落としてしまったのが痛かったですが、予選で我々の本来の位置にいれば、避けられたアクシデントだったかも知れません。やはり中団グループの混雑した中でのスタートにはリスクが伴いますし、今回は遅いマシンに引っかかってしまい、自分たちのペースで走れなかったのがミニマム周回数でピットインさせ、早めのドライバー交代に踏み切りました。ニクラスのレース後半のペースは悪くなく、マシンのポテンシャルは確認できたので、走行データを解析し、次の菅生までにできることはすべてやって、万全の体制で挑みます。応援ありがとうございました。





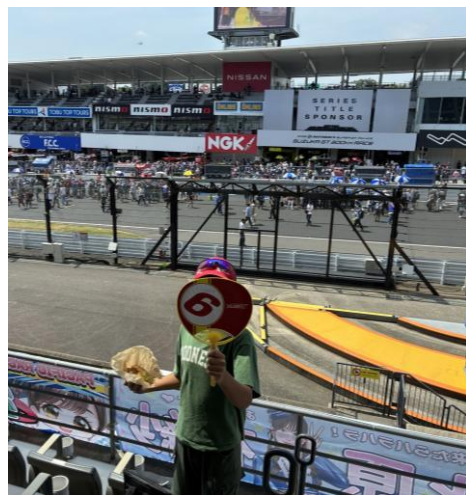
2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ご来場者様からのお写真をご紹介します



中部焼結販売株式会社・U様よりいただいたお写真をご紹介します。

『初めて鈴鹿サーキットで観戦いたしました、実際に現地で拝見しコースの起伏の激しさに大変驚きました。加えてストレートでのマシンのスピードは想像以上に速く、迫力ある走りに強く印象を受けました。』

当日は非常に暑い一日でしたが、それ以上に会場全体の熱気がすばらしく、現地ならではの臨場感を存分に感じることができました。

夏休みで子供の社会学習として最適な環境でした。

レースを通じて、車の構造やスタッフ様のお仕事等、興味が沸いたようで非常に貴重な体験でした。

また、VELOREX様のご活躍を間近で拝見することができ、大変貴重な機会となりました。ぜひまた観戦させていただきたいと思っております。』

うちわや手旗をご持参いただき、楽しく応援して下さいましたので、ご紹介させていただきました。

当日のサーキットやグランドスタンド席は想像を絶する暑さの中、弊社にとって過去最多数のお客様が会場へお越し下さいました。応援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

VELOREX



RACING WITH FERRARI



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.5

SUZUKA GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ニチアス

TONE



zahren

MIDTOWN BBQ
STEAK X SMOKEHOUSE

EVER
CORPORATION

DOBOT

SEIHA



カトー機械株式会社

オカモト

ヒロ デンタル クリニック

CLIMAX
SOFT99 autoservice

KYO-EI
INDUSTRIAL CORPORATION

ASAHI 朝日金属株式会社



AOYAMA
ELEVATOR

中部総合監査法人

SANDISK™

AOI
TRUST
CO., LTD.

MAITY



H&F

KANETAKE

森吉物流グループ

JOTO DIRECT

愛知電線株式会社

見田工作

H&A

SASAHARA

4EAST

Digi-Tec
INTEGRO

株式会社プロデュース

KOWA

TAISEIDOBOKU Co., Ltd.

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛冶島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田淵塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社

VELOREX



RACING WITH FERRARI